草濫

熊本高校図書館
第282号
2008年12月22日
生徒図書委員会

最近寒くなってきましたね。外出するのが億劫だという人、たまにはコタツでのんびりと読書というのもいいものですよ。新しく入った本から特にお勧めのものを紹介したので、勉強の合間にでもぜひ。

春季限定いちごタルト事件　米澤穂信

―そう。環境が変われば、きっとうまくやれるだろう。小鳩君と小山内さんはとある目的のために互恵関係にある高校一年生。二人の目的。それは・・・慎ましく温厚な「小市民」の星を掴み取ること。けれども二人の前にはいつも「謎」という名の壁が立ちはだかる。始まる高校生活。果たして二人は中学までの自分を克服できるのか？

ICO―霧の城　宮部みゆき

トクサの村にはしきたりがあった―何十年かに一度、角の生えた子は「霧の城」へ生贄（ニエ）として捧げられるのだ。生贄として選ばれたイコは霧の城で鳥籠に囚われていた少女を見つける。イコは少女と脱出を試みるが、少女の手に触れると不思議な幻が広がる。それは「霧の城」の秘密と関係があるようだけれど・・・「霧の城」に隠された謎は何なのか。ファンタジーだけじゃ物足りないあなたに。

狼と香辛料　支倉凍砂

表紙でちょっと敬遠する人もいるかもしれませんが、この本は誰にでもお勧めできます。内容は、偶然出会った狼の化身ホロと行商人ロレンスが一緒に旅をする、というもの。２人のほのぼのした会話や、商人同士の腹の探り合いなどには引き込まれます。剣も魔法もない一風変わったファンタジーを体験してみませんか？

パズル自由自在　高田崇史

千葉千波の事件日記シリーズの最新刊です。このシリーズは日常生活の話の中にパズルを組み込んだ変わった話です。少々非現実的な話もありますが、独特の語り口とパズルの世界に引き込まれると、特に違和感なく読めると思います。パズル好きの人はもちろん、そうでない人でもゆるーく読める本なので、一度手にとって見てください。

朝日のようにさわやかに　恩田陸

ホラー、ミステリー、SF、ショートショート・・・恩田陸が描く、味わい深い読みきり短編集。万華鏡のような懐かしさと、揺らいでしまいそうな不安が凝縮されています。謎にぞくぞくしたい人、ちょっと恐怖に満たされたい人に切ない気持ちを知りたい人・・・どんなジャンルの人でも楽しめる作品です。

RUN　森絵都

もしもあの世へ行ける道があったなら…。ある日愛車をずっとこぎ続けるとそこには「あの世」で死んだ家族がいた。けれど自分の足でたどり着かなきゃいけなくて…。夢も友達もないフリーターが、変なマラソン仲間と走り出す物語。読むと優しくなれます。あなたも走ってみたくなりますよ。

レヴォリューションNo.３　金城一紀

新宿区にある、とある男子校。そこに通う人々は「ゾンビ」と呼ばれていた――。携帯と巨人とカラオケが嫌いなやつらがなぜか集まったザ・ゾンビーズ。結成目的は…ご近所の学園祭襲撃！「レヴォリューションNo.３」ほか２編。ザ・ゾンビーズの勢いに引き込まれます。パワーあふれる一冊。

SPEED　金城一紀

窮屈で毎日変わらない生活。それが家庭教師の死がきっかけでずれ始めた…！ザ・ゾンビーズ３作目。大学祭に潜む金儲けに待ったをかける。１作目とはまた違うわくわくさせる冒険談。けれど爽快感は色あせない！毎日に退屈している人読んでみては？二作目も入ってます。

読みたい本は見つかりましたか？図書室のカウンターの隣においてあるので、気が向いたら立ち寄ってください。

図書館は十二月二十七日から一月五日まで休館いたします。冬休み貸出運動実施中！ぜひ図書館へ。